枚方市議会報

発行　枚方市議会　編集　議会報編集委員会
〒573-8666　枚方市大垣内町2丁目1番20号
☎072(841)1528／FAX072(841)0240

第329号
令和2年
(2020年)
11月1日

紙面あんない

市政への疑問をただす
一般質問に28議員
▶2・3面

食欲の秋も手洗いをしっかりと!

枚方市キャラクター
ひこぼしくん

議会日誌

8月

8月緊急議会
6日…本会議（第1日）
補正予算を可決

9月

9月定例月議会
7日…本会議（第1日）
補正予算、条例の制定・一部改正等を可決
7日…決算特別委員会
委員長・副委員長の互選等
14・15・16・17日…本会議（第2～5日）
28議員が一般質問
23日…本会議（第6日）
補正予算等を可決
30日…決算特別委員会

10月

1・5・6・8日…決算特別委員会
令和元年度各会計決算等を審査
12日…本会議（第7日）
令和元年度各会計決算等を認定・可決
補正予算等を可決

8月緊急議会
9月定例月議会

一般会計補正予算など 49議案を可決

令和2年8月緊急議会は、8月6日に開かれ、新型コロナウイルス感染症への対応に係る一般会計補正予算などを可決しました。

令和2年9月定例月議会は、9月7日から10月12日まで開かれました。9月7日と23日には、一般会計補正予算や条例の制定などを可決しました（詳細は3面下・4面）。さらに、9月14日から4日間にわたり28人の議員が一般質問を行いました（詳細は2・3面）。

なお、令和元年度一般会計決算ほか7特別・3企業会計決算などについては、決算特別委員会に付託した上で認定・可決しましたが、その審査内容と10月に開催した本会議での審議内容は、次号でお知らせします。

議会は、8月6日の本会議で、「令和2年度一般会計補正予算（第8号）」及び「令和2年度病院事業会計補正予算（第5号）」を原案のとおり、満場一致で可決しました。

一般会計補正予算（第8号）は、新型コロナウイルス感染症に係る追加対策に要する経費について増額補正を行うもので、歳入歳出それぞれ22億9333万円を増額。

歳入の主な補正内容は、財政調整基金繰入金20億5283万円の増額などです。

歳出の主な増額補正内容は次のとおりです。

▼地域外来・検査センター運営事業費（地域の医療機関が感染症の受診調整を行う「地域外来・検査センター」の設置委託）…2億4000万円
▼コロナ対策実施店舗応援事業費（感染症防止宣言を行う店舗で利用できるクーポン券〈写真〉を市民1人につき3000円分配布）…15億6022万円
▼衛生管理臨時事業費（小・中学校の施設消毒やトイレ清掃を事業者に委託）…1億2742万円
▼その他新型コロナウイルス感染症対策経費
・保育所等の入所受付窓口へ窓口番号呼出しシステムを導入…145万円
・留守家庭児童会室へサーキュレーターやマスク等を配備…4678万円
・新型コロナウイルス感染症を踏まえた臨時的な給食提供の検証として、給食の無償提供を10日間実施し、意識調査を行う…9681万円

病院事業会計補正予算（第5号）は、新型コロナウイルス感染症対策に係る医療機器等の購入や検査受託に関する経費1億9939万円の増額です。

※1万円未満四捨五入

クーポン券は市内参加店舗で利用できます
（写真は川原町商店街の店舗）

一般会計 病院事業会計
新型コロナウイルス感染症に係る経費など
補正予算を可決

Q&A 本会議 質問と答弁

策舗業 コロナ対応店舗事業 施援 実応 参加店舗を増やし感染予防の推進を

質問 感染症対策を行う店舗で使えるクーポン券を全世帯に配布するというが、感染者の増加で利用期間内に営業自粛等が生じた場合の対応を聞く。

なお、市民が安心してクーポン券を使えるよう、事業の参加店舗を増やし、感染予防対策の推進につなげることを要望する。

答弁 デリバリーやテイクアウトでのクーポン券利用の検討や事業期間の延長など柔軟に対応する。

策舗業 コロナ対応店舗事業 施援 実応 実行委員会を活用し確実に届く支援を

質問 コロナ対策実施店舗応援事業で設置する実行委員会の役割等を聞く。

なお、同委員会をフル活用して現場のニーズ把握に努め、事業者や働く者へ、より直接的で確実に届く支援を要望する。

答弁 実行委員会では、同事業の具体的な企画など目的達成に必要な取組を行う。事業終了後も、構成団体との連携により、市内事業者への支援施策を検討していく。

策舗業 コロナ対応店舗事業 施援 実応 個人事業者に対し必要なサポートを

質問 コロナ対策実施店舗応援事業は、感染症対策促進が目的というが、対策の進みにくい個人事業者へのサポート等、対策促進に向けた取組を聞く。

なお、クーポン券の利用先が大手事業者に偏ることのないよう、制度設計の見直しを要望する。

答弁 感染症対策店舗を増やす取組は重要と考え、地域に出向いての説明会など直接的な周知により、感染症対策を推進する。

策舗業 コロナ対応店舗事業 施援 実応 様々な業種へ有用性の周知を

質問 コロナ対策実施店舗応援事業をきっかけに、全市内店舗での感染症対策意識の向上、対策実施店舗の増加等の相乗効果を期待する。それには、様々な業種への本事業の有用性の周知等が必要と考えるが、見解を聞く。

答弁 同事業の実行委員会を構成する各団体が積極的周知を行うほか、様々な手法やチャンネルを活用し、多くの事業者が参加できるよう取り組む。

策舗業 コロナ対応店舗事業 施援 実応 自粛営業の店舗や事業者へ経済支援を

質問 今回、3億円の事業経費をかけて市民にクーポン券を配布するというが、再度の外出や営業の自粛要請が予想される状況の中、慎重に検討すべきと考える。それよりも、これまで自粛営業を余儀なくされてきた店舗や事業者への経済支援を実施すべきではないか。

答弁 引き続き、市内事業者支援の観点から、ニーズの把握に努め、新たな支援策の検討を行う。

策舗業 コロナ対応店舗事業 施援 実応 厳しい状況の事業者換金は早急・簡単に

質問 厳しい経済状況にある事業者には、今回配布するクーポン券での売上げが早急かつ簡単な方法で換金され、現金として早く手元に入ることが重要だが、どのような仕組みにしていくのか。

なお、デリバリーやテイクアウトでのクーポン券利用の検討を要望する。

答弁 実行委員会において、事業者の負担が少なく速やかに換金できる仕組みづくりに取り組む。

コロナ対策実施店舗応援事業の費用対効果は

質問 ニーズを的確に捉え無駄なく施策を展開すべき厳しい財政状況の中、経費がかかるコロナ対策実施店舗応援事業の費用対効果への認識を聞く。

なお、利用対象を感染防止宣言ステッカー掲示店舗に限ることは疑問であると意見しておく。

答弁 店舗での対策促進と多くの市民の利用により、商業振興につながると考えている。費用対効果が高まるよう取り組む。

臨時的な給食提供 小学校給食における検証実施の必要性は

質問 臨時的な給食提供を検証する事業を、既に全員給食である小学校で行う必要性について聞く。

なお、調理場の処理能力を超えた場合の検証とコロナ禍での保護者等の負担軽減の両方を図ろうとしているが、結局何を目指すのか理解しづらくなっていると意見しておく。

答弁 臨時休業時等の対応や、現状に係る課題抽出とともに、今後の給食提供体制の検証を行う。

臨時的な給食提供 意識調査の内容を中学校給食の検証へ

質問 小・中学生や保護者に給食を無償提供して意識調査し、臨時的な給食提供の検証を行うというが、どんな場面を想定して取り組むものなのか。

なお、意識調査の内容は吟味を重ね、今後の中学校給食の在り方の検証につながるよう要望する。

答弁 臨時休業や分散登校の非常時を想定しており、給食提供後の意識調査により、供給体制に係る課題等の抽出を行う。

臨時的な給食提供 休校時等の対応は

質問 臨時的な給食提供の検証のため、選択制である中学校でも全生徒に給食を提供するというが、食物アレルギーや休校時等への対応について聞く。

なお、修学旅行時期に注意し、学校や家庭に負担のない実施を要望する。

答弁 食物アレルギーのある生徒には、安全、安心を第一に考慮し、可能な対応を行う。また、休校時等の対応については今後協議していく。

庭室 家守 留守家庭児童会 利用者等の声を聞き感染症対策の検証を

質問 留守家庭児童会室で今回購入する予定の備品等は、どのような判断で選定を行ったのか。

なお、同室利用者等の声や現場の状況をしっかり確認し、今回の配備による感染症対策への効果を検証するよう要望する。

答弁 感染拡大が懸念される中、安全、安心を最優先に子どもや保護者の不安やニーズに応えられるよう取り組んできた状況を踏まえて選定した。

小・中学校 計画的で安全性の高い感染症対策の実施を

質問 コロナ禍での学校のトイレ清掃や施設消毒を、熱中症や感染リスクが懸念される高齢者が従事するシルバー人材センターに9月末まで委託することへの見解を聞く。

なお、より計画的で安全性の高い感染症対策を行うよう改めて要望する。

答弁 同センターには、従事者の体調や基礎疾患の有無などの適性や感染症対策等への十分な配慮を含め、業務委託する。

地域外来・検査センター国に必要費用の要請を

質問 地域外来・検査センターを3か所設置することで、PCR検査が受けやすくなり、また、素早い実施を望む市民の願いがかなうものになるのか。

なお、同センターの検査量や対象を拡充するとともに、必要な費用を国に要請するよう要望する。

答弁 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に必要な検査については、さらに円滑、迅速に実施できるよう体制整備を図る。

必要なときに検査が受けられる取組を

質問 地域外来・検査センターの効果を高めるためにも、必要なときにPCR検査が受けられる取組は重要だが、見解を聞く。

なお、同センターの早期増設とともに、地域のかかりつけ医で検査を可能にするなど、検査体制の拡充を要望する。

答弁 府の重点取組にも検査件数の増加は示されており、機器の購入や受入枠の拡大等の協力を市内医療機関に求める。

PCR検査体制を整備し市内開業医でも検査を

質問 地域外来・検査センターは、新しく専門施設を設ける印象だが、どのように展開するのか。

なお、今後、市内の開業医でもPCR検査を可能にし、スムーズな検査体制の整備を要望する。

答弁 同センターは国が示すマニュアルに基づき設置し、検査体制の強化を図る。既存の病院に委託を展開し、委託料として医師や看護師の人件費や備品費等を負担する。

保育所入所等受付窓口に予約システムの開設を

質問 感染症対策として導入予定の保育所入所等受付窓口での混雑緩和を目的とする窓口番号呼出しシステムの内容を聞く。

なお、来庁時の他者との接触回避や待ち時間の短縮は最優先かつ解決できる課題であり、窓口の予約が事前にできるシステムの早期開設を要望する。

答弁 来庁時の順番待ちの間、その場を離れてもスマートフォン等で状況が確認できるものである。

安定した収入を確保するための同社の取組を聞く。

なお、同社は市と災害協定を結び、通常放送枠内で災害訓練を行っている。災害に備えるためにも放送委託料を削減すべきでないと意見しておく。

答弁 同社事業計画では、スポンサーの拡大や経費削減等により財政基盤強化に取り組むとしている。

12月定例月議会
日程はこちら（随時更新）
12月8日から開催
詳しい日程は、12月1日の議会運営委員会で決定します。

水道・下水道事業会計
補正予算を可決

議会は、8月6日の本会議で、「令和2年度水道事業会計補正予算（第3号）」及び「令和2年度下水道事業会計補正予算（第3号）」を原案のとおり、満場一致で可決しました。

これらの補正予算は、請求誤りにより、過大に徴収することとなった水道料金等について、利息相当額を含め事業者に返還等を行うもので、水道事業・下水道事業会計合わせて収入666万円の減額、支出1億8814万円の増額です。

※1万円未満四捨五入

Q&A 本会議 質問と答弁

水道料金等の請求誤り再発防止の対策は

質問 今回発覚した水道料金等の請求誤りについて、再発防止対策を聞く。

なお、今後は市民に不利益を与えないよう、今回誤りが発覚した業務以外も正確に処理されているかを確認するなど、再発防止の取組を要望する。

答弁 誤りがあった業務では、全ての書面を確認し業務フローを改める対策を既に講じており、今後は業務全般におけるチェック体制の強化を図る。

過ちを繰り返さないよう上下水道局全体の点検を

質問 水道料金等の請求誤りのような過ちを二度と繰り返さないため、内部統制を図る観点からも日常業務に潜むリスクを洗い出して識別、分析し、リスクに対応するルールをつくる必要がある。上下水道局全体の点検に本腰を入れるべきではないか。

答弁 局内の全業務を対象に業務フローの確認、チェック体制の強化等を主眼とした点検を3年3月までに終える予定である。

請求誤りで多額の返還経営責任者の見解は

質問 今回、請求誤りによる多額の返還が生じたことを経営責任者としてどう受け止めているのか。

なお、民間企業での懲罰委員会のように、業務ミス等の抑止力にもなる組織の設置を要望する。

答弁 組織内の連携不足とチェック体制の欠如を猛省している。二度とこうした事案が生じないよう、チェック機能の強化はもとより局全体の意識改革と体制整備に取り組む。

元年度
4外郭団体の経営状況を聴取

議会は、9月7日の本会議で、4外郭団体の令和元年度経営状況について、報告を聴取しました。

報告の概要は次のとおりです。

■**枚方市土地開発公社**…公有用地の新規取得は約9700平方㍍で、取得事業に要した金額は5億8726万円。

また、約5809平方㍍の公有用地を売却し、売却収益は5億9845万円。

■**公益財団法人枚方市スポーツ協会**…収入は4億8607万円、支出は4億7583万円。

■**公益財団法人枚方市文化国際財団**…収入は8706万円、支出は8594万円。

■**株式会社エフエムひらかた**…収入は8697万円、支出は8493万円。

※1万円未満四捨五入

Q&A 本会議 質問と答弁

エフエムひらかた 災害時に備え委託料の維持を

質問 感染症の影響で収入確保が厳しいと予想されるエフエムひらかたが安定した収入を確保するための同社の取組を聞く。

なお、同社は市と災害協定を結び、通常放送枠内で災害訓練を行っている。災害に備えるためにも放送委託料を削減すべきでないと意見しておく。

答弁 同社事業計画では、スポンサーの拡大や経費削減等により財政基盤強化に取り組むとしている。

議決結果一覧

会派等所属別議員名（会派等は届出順に掲載。（　）は略称）	意見書							その他								外郭団体経営状況				令和元年度決算関連												契約		条例 一部改正							条例 制定	令和2年度補正予算												9月定例月議会	令和2年度補正予算				8月緊急議会	掲載面
	・医療機関に対する財政支援の強化を求める意見書	・地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	・新しい生活様式を踏まえた少人数学級編制の実現を求める意見書	・コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付等を求める意見書	・ドクターヘリの安定的かつ持続的な運用への支援強化を求める意見書	・防災・減災・国土強靱化対策の継続、拡充を求める意見書	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	・財産（空気清浄機）の取得	・財産（サーマルカメラ）の取得	・財産（フルコンサートグランドピアノ）の取得	・長尾財産区財産の処分	・専決事項の報告（損害賠償）	・元年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	・元年度下水道事業会計継続費の精算報告	・元年度水道事業会計継続費の精算報告	・債権の放棄	・元年度基金の運用状況	・株式会社エフエムひらかた（元年度）	・公益財団法人枚方市文化国際財団（元年度）	・公益財団法人枚方市スポーツ協会（元年度）	・枚方市土地開発公社（元年度）	・下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	・水道事業会計未処分利益剰余金の処分	・下水道事業会計決算	・病院事業会計決算	・水道事業会計決算	・母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計歳入歳出決算	・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	・介護保険特別会計歳入歳出決算	・財産区特別会計歳入歳出決算	・自動車駐車場特別会計歳入歳出決算	・土地取得特別会計歳入歳出決算	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算	・一般会計歳入歳出決算	・香里小学校長寿命化改修及び増築工事請負変更契約締結	・穂谷川清掃工場第3プラント定期補修工事（後期）請負契約締結	・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	・総合福祉会館条例	・基金条例	・重度障害者の医療費の助成に関する条例等	・手数料条例	・附属機関条例	・東部大阪都市計画新町二丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	・東部大阪都市計画東田宮山之上地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	・一般会計補正予算（第9号）	・一般会計補正予算（第10号）	・一般会計補正予算（第11号）	・国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	・財産区特別会計補正予算（第2号）	・介護保険特別会計補正予算（第2号）	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	・母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算（第3号）	・水道事業会計補正予算（第4号）	・病院事業会計補正予算（第6号）	・病院事業会計補正予算（第7号）	・下水道事業会計補正予算（第4号）	・一般会計補正予算（第8号）	・水道事業会計補正予算（第3号）	・病院事業会計補正予算（第5号）	・下水道事業会計補正予算（第3号）	議決結果一覧
自由民主党枚方創政会（自民） 前田富枝、田口敬規 長友克由、加藤　治	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	聴取	聴取	聴取	聴取	聴取	聴取	聴取	聴取	可決	可決	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	掲載面
日本共産党議員団（共産） 広瀬ひとみ、野口光男、 堤　幸子、松岡ちひろ	4	4	4	4	4	4	4	※	4	4	―	4	―	―	―	4	4	1	1	1	1									※		3	3	3	3	―	―	―	3	―	―	4	※	4	4	4	4	4	4	4	※	4	4	1	1	1	1	自民
連合市民の会（連合） 漆原周義、野村生代、 中武貞勝、奥野美佳、 番匠映仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	共産
大阪維新の会 **枚方市議会議員団（維新）** 岩本優祐、妹尾正信、 鍛治谷知宏、泉　大介、 岡市栄次郎、門川紘幸、 小池晶子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	連合
公明党議員団（公明） 有山正信、山口　勤、 上野尚子、大地正広、 藤田幸久、丹生真人、 田中優子、一原明美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	維新
ひらかた無所属議員の会（ひらかた） 西田政充、八尾善之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公明
未来に責任（未来） 木村亮太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ひらかた
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未来

・野村生代議員（連合市民の会）は、議長としての立場上、採決に参加していません。
・中武貞勝議員（連合市民の会）は、9月定例月議会を欠席しています。

※ 決算審査と10月12日の議案審議の内容は、次号でお知らせします。